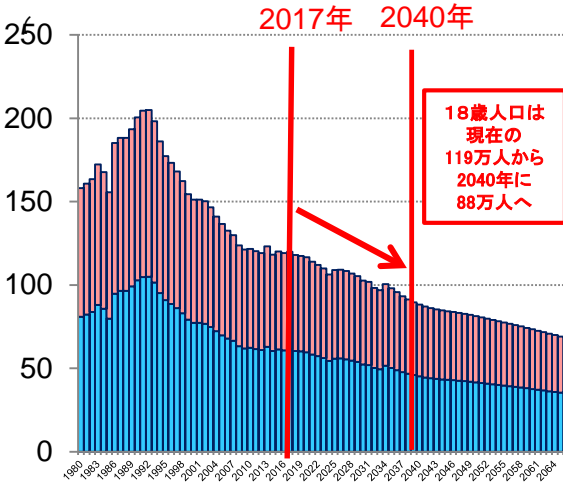


一体改革① 教育研究の基盤強化に向けて高等教育システムを改革

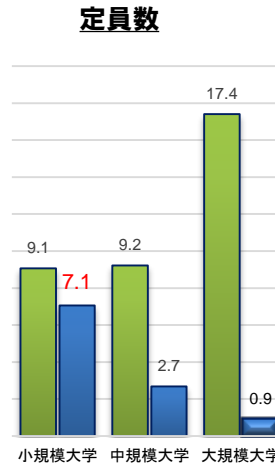
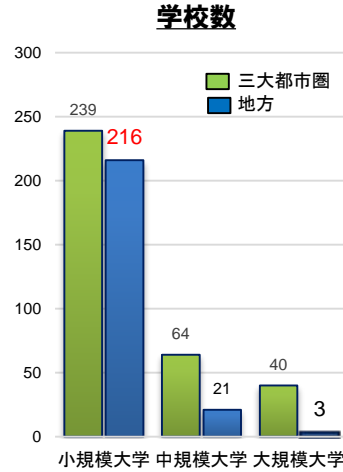
18歳人口は今後大幅に減少していくことが予想され、現在の規模に大きな影響
特に地方には小規模な大学が多く、経営悪化により地方における教育機会の確保が困難に

◆ 18歳人口は今後大きく減少

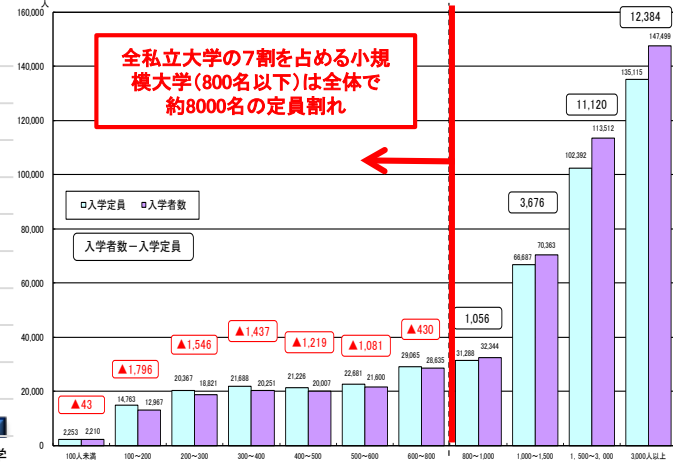


出典：文部科学省調べ

◆ 小規模大学の数が多く、全体として定員割れ傾向



出典：文部科学省調べ



日本私立学校振興・共済事業団「平成28年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より作成

改革の方向性

人口減少を見据え教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革：特色ある「足腰の強い」大学づくり

◆ 国公立の枠を超えた連携・統合の可能性の検討

(考えられる方策例)

- ・国立大学の一大学一法人制の見直し（アンブレラ法人）
- ・国立大学教員養成系に関する検討
- ・経営の幅広い連携・統合や事業譲渡的な承継の方策
- ・大学の国際展開の検討

◆ 地方に必要な人材を育成するためのプラットフォームづくり

- ・他大学、高専、専門学校、自治体や産業界との連携強化
- ・地方大学と都市圏や海外大学との交流、Uターン希望学生の就職支援
- ・高等学校におけるコミュニティ・スクールの導入促進

◆ 経営力の強化

- ・優れた学長のリーダーシップによる大学運営の促進
- ・大学教育の成果の徹底した見える化・情報公開
- ・教育研究の質向上に向けた私学助成等の拡大・重点配分による取組促進
- ・外部資金導入の大幅な増加

◆ 改革が進まず学生確保ができない大学の円滑な撤退手続きの検討

(考えられる方策例)

- ・改革を行ってもなお経営困難な場合の経営判断の促進
- ・経営破綻の際の処理手続きの検討